

静岡県袋井市における学齢期からの生活習慣病予防に関する疫学研究

Fukuroi Kids Health study

研究の背景

虚血性心疾患や脳血管疾患さらに骨粗鬆症などの疾患は、小児期から成人期に至る長年の生活習慣の蓄積によって生じます。この生活習慣の形成には学齢期における健康教育や生活指導が影響します。

静岡県袋井市では 2004 年度から小中学校の児童・生徒に生活習慣病予防健診を行い、その要指導者を対象とした事後指導おこなっています。2007 年度からは、近畿大学医学部がこの事業に協力し、保健センター職員や学校教育課と共同で本事業を進めると共に、「静岡県袋井市における学齢期からの生活習慣病予防に関する疫学研究 (Fukuroi Kids Health study)、研究責任者:近畿大学・医学部・甲田勝康」を行っています。

研究の目的・方法

本研究の目的は、この事業で得られた小児の血清脂質、血圧、肥満、体組成、生活習慣に関する事項について研究すると共に、学齢期における生活習慣病予防対策事業のあり方について検討することです。

研究の対象と研究に用いる情報

対象は、2007 年以降の袋井市小児生活習慣病予防健診を受けた小学校の児童および中学校の生徒で、検討項目は、生活習慣病予防健診の結果（身長、体重、血圧、血清コレステロール値、既往歴、家族歴等）や生活習慣調査（アンケート）結果です。これらの情報について 2029 年 3 月 31 日まで研究利用します。

個人情報と研究利用の拒否

これらの情報には個人名が含まれますが、情報は近畿大学医学部および袋井市において厳重に保管し、個人情報除かれた後に解析され、研究成果は公開されています。なお、小児生活習慣病予防健診や生活習慣調査の受診は任意であり、さらに、情報が当該研究に用いられることについてご本人もしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でもご本人に不利益が生じることはありません。

またご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

連絡先

〒589-8511 大阪府大阪狭山市大野東 377-2

近畿大学医学部公衆衛生学教室

TEL 072-366-0221 (内線 3272)

FAX 072-367-8262

研究責任者：甲田勝康

研究論文（抜粋）

Fujita Y, Kouda K, Nakamura H, Iki M. Inverse association between height increase and LDL cholesterol during puberty: A 3-year follow-up study of the Fukuroi City. *Am J Hum Biol.* 2016; 28: 330-334

Fujita Y, Kouda K, Nakamura H, Iki M. Association of Rapid Weight Gain During Early Childhood With Cardiovascular Risk Factors in Japanese Adolescents. *J Epidemiol.* 2013; 23: 103-108

Fujita Y, Kouda K, Nakamura H, Iki M. Cut-off values of body mass index, waist circumference, and waist-to-height ratio to identify excess abdominal fat: population-based screening of Japanese school children. *J Epidemiol.* 2011; 21: 191-196